

令和 7 年 7 月 8 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 6 年度から令和 7 年度		
会 社 名	川浦土建株式会社		
住 所	〒380-0864 長野市大字長野立町 9 7 8 - 4		
代 表 者 名	代表取締役社長 川浦 俊樹		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	営業部		
担 当 者 名	久保田 嘉浩		
連 絡 先	T E L	026-235-1318	
	F A X	026-235-3403	
	電子メールアドレス	y-kubota@kawaura-d.co.jp	
ホームページアドレス	http://www.kawaura-d.co.jp/kawaura/		

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の分別及び再利用・再資源化に関して積極的な取り組みを実践し、排出量の抑制に努める。エコアクション21で掲げている地球環境に配慮した事業活動を行っていくため、環境への負荷軽減を推進し、持続的に環境への社会貢献また社会的存在意義を成すよう努める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R7 年度目標値	R6 年度実績値	R4 年度実績値	R3 年度実績値
総排出量の推移 (t)	1,325	1,394	3,389	3,568
リサイクル量の推移 (t)	1,124	1,183	3,055	3,498
売上高の推移 (円)		13 億 1,000 万	14 億 2,100 万	15 億 3,000 万

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・エコアクション 21 の認証登録後、継続活動をしており、産業廃棄物の減量化、分別の取行、再資源化促進の意識を社員全員で共有すべく、社内全体会議において教育訓練を継続的に実施する。
- ・環境負荷を軽減する為、端材などの産業廃棄物排出量を抑えられる施工方法や発注数量を検討又は提案し、積極的に減量化に努める。
- ・作業所では産業廃棄物の種類別に保管箱を保管場所に設置し、数量を把握して管理する。また電子マニフェストの導入を推進する。
- ・処理委託をした産業廃棄物が不法投棄、もしくは不適正処理されたことが判明した場合には早急に状況把握及び原因の確認を行い、関係機関に連絡・報告をする。そのような状況が起こらないよう、委託処理業者の処理施設の現地確認は現場毎に適宜行い、優良認定処理業者・再生利用処理業者への処理委託を積極的に採用する。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種 別	当年度目標値	過年度実績値		
	R7年度 目標値	R6 年度 実績値	R4 年度 実績値	R3 年度 実績値
再生アスファルト合材	100	100	100	100
再生砕石	100	100	90	85
全 体	100	100	95	92